横浜市土砂災害ハザードマップ

大雨から身を守るために

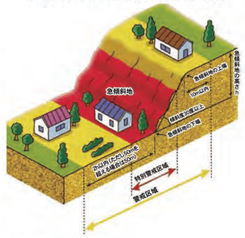
横浜市の地質や地形等から大規模な土石流が発生する可能性は低いものの、毎年、台風や集中豪雨により崖崩れが発生しています。
災害から命を守るためには、市民の皆様も災害に関する一定の基礎知識が必要です。「自分の家だけは災害に遭わない」という意識を変え、様々な情報から危険を感じとり、主体的に避難行動等をとっていただけるようにこのハザードマップを作成しました。

◆ 土砂災害ハザードマップとは？

土砂災害ハザードマップは、梅雨期の集中豪雨や台風に伴う豪雨などにより、崖崩れが発生した場合に被害を受けるおそれのある区域を土砂災害警戒区域として示し、崖崩れ災害が予想される場合や崖崩れが発生した場合に、市民の皆さんが避難などの適切な行動を取っていただくために作成したものです。
ハザードマップには、避難所の位置や大雨に対する備えなどについてまとめていますので、日頃からご家族や地域の方と話し合っていただき、いざというときに備えてください。

崖崩れ

雨や雪どけ水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象



◉ **土砂災害警戒区域**
・傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域
・急傾斜地の上端から水平距離が10m以内の区域
・急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍（50mを超える場合は50m）以内の区域

◉ **急傾斜地の崩壊**
・傾斜度が30度以上である土地が崩壊する自然現象

土砂災害ハザードマップを活用しましょう！

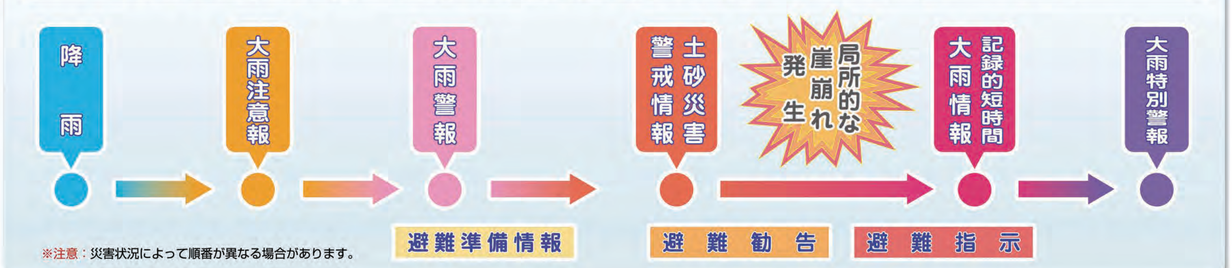
台風や集中豪雨などによる崖崩れから身を守るためには、市民の皆様一人ひとりが防災意識を高め、情報収集し、日頃から備えを行うことがとても重要です。

- **自宅を確認しましょう**（P④ へ）
  ・裏面のマップで「自宅の位置」と「危険な場所」を確認し、避難経路を考えましょう。
- **避難のサインと避難行動**（P⑥ へ）
  ・土砂災害の前兆現象を知り、ご自宅に応じた避難行動について考えましょう。
- **情報収集について**（P⑦ へ）
  ・横浜市のホームページや横浜市防災情報Eメールなどから災害時に必要な情報を入手する方法をまとめました。
- **日頃の備え**（P⑧ へ）
  ・「非常時の持ち出し品リスト」を参考に、避難するときに持ち出すものを準備しましょう。
  ・「避難カード」にまとめて、確認できるようにしましょう。

お問合せ先

お問合せ先	電話番号	お問合せ先	電話番号
鶴見区役所総務課	510-1656	緑区役所総務課	930-2208
神奈川区役所総務課	411-7004	青葉区役所総務課	978-2213
西区役所総務課	320-8310	都筑区役所総務課	948-2212
中区役所総務課	224-8112	戸塚区役所総務課	866-8307
南区役所総務課	743-8108	栄区役所総務課	894-8312
港南区役所総務課	847-8315	泉区役所総務課	800-2309
保土ケ谷区役所総務課	334-6226	瀬谷区役所総務課	367-5611
旭区役所総務課	954-6007	総務局危機管理室	671-2172
磯子区役所総務課	750-2312	建築局建築防災課	671-2948
金沢区役所総務課	788-7706	土砂災害警戒区域全般に関すること	
港北区役所総務課	540-2206	神奈川県横浜川崎治水事務所	411-2500

土砂災害に係る防災情報等の流れ（イメージ）



※注意：災害状況によって順番が異なる場合があります。

注意報・警報等の発表基準

気象情報	情報内容	発表基準
大雨注意報	大雨により、災害が起こるおそれがある。	1時間雨量30mmなど
大雨警報	大雨により、重大な災害が起こるおそれがある。	1時間雨量45mmなど
土砂災害警戒情報	大雨による土砂災害発生の危険度が更に高まったとき。	土壌雨量指数の上昇など
記録的短時間大雨情報	数年に一度の記録的な短時間の大雨を観測したとき。	1時間雨量100mm
大雨特別警報	大雨により、重大な災害が起こるおそれが著しく大きい場合。	数十年に一度の降雨量

◆ 防災情報等はどうやって伝達されるのだろう？

※注意：大雨の時は聞こえにくいこともあります。

自宅を確認しましょう

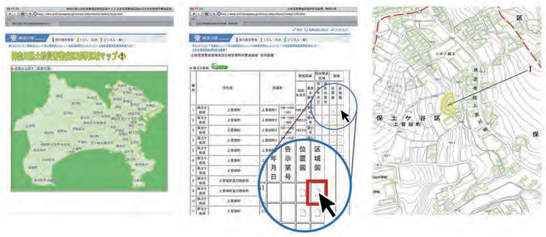
◆ 土砂災害ハザードマップで自宅と避難場所を確認しよう！

◎自宅付近に崖地がないかを確認しましょう。（裏面マップ参照）

神奈川県土砂災害警戒区域ホームページ及び確認方法
http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/sabo/bousai/keikai/kouji.html
※より詳細な地図を確認することができます。

検索例

❶ 区を選択 → ❷ 町丁名を確認し、区域図を選択（クリック） → ❸ 自宅及び周辺を確認



◆ 崖崩れが発生した場合に大きな被害のおそれがある崖地を確認しよう！

検索例

❶ 横浜市危機管理室トップページの「わが家の対策（自助）」から、「◆土砂災害への備えについて」をクリック → ❷「◇対象となる崖地と避難勧告対象地域」をクリックして、対象地域を確認

避難勧告等の発令

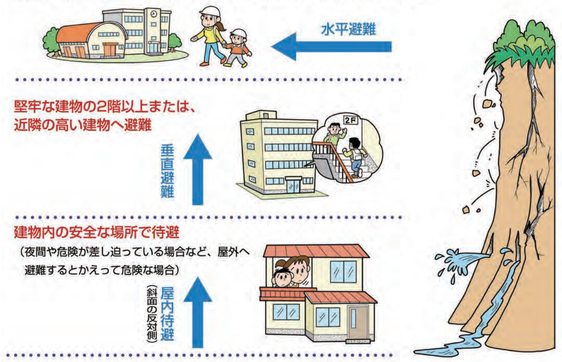
避難情報	発令の目安	皆さんの行動
避難準備情報（避難行動要支援者避難情報）	災害による人的被害の発生する危険性が高まった場合。	お年寄り、子ども、障害のある人、病気の人など、避難に時間を要する方は、避難行動を開始してください。
避難勧告	災害による人的被害の発生する危険性が高まった場合、崖崩れの前兆現象を確認した場合。	安全な場所へ避難を開始してください。
避難指示	災害による人的被害の発生する危険性が非常に高まった場合。	まだ避難行動をとっていない人は、直ちに避難を開始してください。

「避難勧告」は崖崩れの前兆現象等を確認してから発令されますが、「崖崩れが発生した場合に大きな被害のおそれがある崖地」及びその周辺住民に対しては「土砂災害警戒情報」の発表をもって「避難勧告」を発令します。

避難のサインと避難行動

避難のサイン（情報は早めに！！）

避難行動（早めに行動！！）



情報収集について

◆ ホームページから情報を入手しよう！

横浜市ホームページに避難勧告などの情報を表示！
http://www.city.yokohama.lg.jp/

◎**土砂災害警戒情報を補足する情報**
http://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/website/kanagawa/gis/index.html

◆ 横浜市防災情報Eメールの配信サービス

あらかじめ電子メールアドレスをご登録された方に対して、気象注意報・警報が発表された場合や河川の水位がある基準を超えた場合などに、メールを配信します。

横浜市防災情報Eメールの登録
http://www.bousai-mail.jp/yokohama/
※電子メールの情報料は無料ですが、通信料は受信者の負担となります。

携帯電話でも上記アドレスにアクセスすることができます。
また、QRコード読取機能がある場合は、左のQRコードを読み取ると、メール配信サービスの登録サイトが表示されます。

日頃の備え ～非常時の持ち出し品～

◆ 非常時の持ち出し品リスト

（必要最低限なもの）

避難カード

いざというときに適切な行動がとれるように、ご自宅に応じた避難行動などを確認しておくことが重要です。避難が必要となる災害や注意すべき情報、避難方法などを記入して、災害に備えましょう。また、家族や近隣の方と話し合い、これらの情報を共有しましょう。

災害の種類	注意する情報	情報の入手方法	避難行動

記入例

災害の種類	注意する情報	情報の入手方法	避難行動
崖崩れ	避難情報 土砂災害警戒情報	横浜市防災情報Eメール その他テレビ、ラジオ、ホームページなど	・○○避難場所へ避難 ・外に出るのが危険な場合は、崖の斜面の反対側の部屋に避難
○○川氾濫	○○川△△橋水位情報「避難判断水位」	横浜市神奈川県ホームページ 横浜市防災情報Eメール	・マンション最上階の共用スペースに避難
高潮	高潮警報	横浜市防災情報Eメール	・親戚の家に避難